

## 西洋建築史第8回

### ルネサンス2 - 古典主義の系譜

中島 智章

#### 序. 古典と古典主義

古代: Antiquity= 特にローマ帝国の時代(B.C.27-A.C.395)

古典: Classic= 理想化された古代= 古典古代…ウィトルウィウスなどから構築された体系であり、考古学的事実とは異なる

古典主義: Classicism= 古典を規範として仰ぐ態度 近世の諸様式(ルネサンス、マニエリスム、バロック、ロココ)

#### 1. フランス王国のルネサンス建築

イタリア遠征の衝撃とゴシックの伝統 イタリア人芸術家たちと現地の石工たち(Gilles LE BRETON)

Charles VIIIのイタリア遠征(1494) ルネサンス建築や美術に触れる= チェルトーザのファサード(パヴィア、1490-1560)

Amboise枢機卿のガイヨン城、Louis XIIのアソワーズ城、ブワロワ城 Erard de la MARCK: リエージュ司教宮殿(~1534~)

ピュリー城館(1511-24) **château**および**hôtel**の平面形式の成立=**cour d'honneur corps-de-logis + aile jardin**

ロワール河畔のシャトー: シュノンソー城館(1515-22)、ブワロワ城館(1515-24)、アゼル・リドール城館(1518-25)、シャンボール城館(1519~)

フォンテーヌブロー城館(1528-1540) フォンテーヌブロー派= Francesco PRIMATICCIO(1505-1570)などの伊人芸術家

古典主義の浸透とフランス人建築家たち SERLIO, Sebastiano: アネール・フラン城館…1540年からフランスに

LESCOT, Pierre(1500/15-1578): ルーヴル宮殿クール・カレ(1546~) Jean GOUJONの協力(カルナヴァレ邸館の浅浮彫も)

DE L'ORME, Philibert(1510/15-1570): アネ城館(1547~)、テュイルリー宮殿 \*著作も *Architecture*, 1567. 全9巻

BULLANT, Jean(1520/25-1578): エクアン城館(1555頃、大オーダールの使用、ハンテオンの細部)、シャンティイの小城館(1560頃)

ANDROUET DU CERCEAU, Jacques(1549-1584): *Les plus excellents bastiments de France*, 1576, 1579.

#### 2. スペイン王国のルネサンス建築

中世以来、イスラム勢力が根を グラナダのアルハンブラ宮殿: 14世紀に最盛期を迎えたナスル朝(1232-1492)の栄華

セビーリヤのアルカザール(王城): 913-914年以来、長らく増改築を繰り返す ハゲタットの華麗な宮廷文化が欧州に

レコンキスタ(再征服= 国土回復運動の進展) グラナダ陥落(1492)= レコンキスタの完成

12-16世紀: ムデハール様式等(イスラム芸術+ヨーロッパ・キリスト教芸術)、プラテレスコ(銀細工)様式(初期ルネサンス)

バルセロナ司教座聖堂、グラナダ大聖堂(東端部1528-1559)、セビーリヤ司教座聖堂(1402-1506、鐘塔1184-1198)

新大陸の富+ブルゴニョ公国の遺産 「太陽の沈まぬ帝国」= Carlos I, Felipe II治世下の建築

MACHUCA, Pedro: Palacio de Carlos V (1527-1592、円形中庭1530頃、正面上階1551-1563、正面上階1586-1592)

TOLEDO, Juan Bautista des; HERRERA, Juan de: エル・エスコリアル(1562-1582) Felipe IIの隠居所

ハプスブルク家領低地地方(ブルゴニョ公国の遺産)= 中世以来、北イタリアと並ぶ都市化地域= Carlos IとFelipe IIの生地

ブルッヘの記録保存所(1535-37)、アントウェルペン市庁舎(1561-65)、ブリュッセルのグラン・プラス(大広場)

#### 3. 国際様式としてのルネサンス建築

オランダ レイデン市庁舎正面(1597-1603)、マウリッツ・ハイス(1633-1635)、アムステルダム市庁舎(1648-1665)

ドイツ語圏諸国 ランツフートの宮殿(1536~)、ハイデルベルク城オットー=ハインリッヒ館(1556~)、アンティカウム(1569-71)、ケルン市庁舎

ホルティコ(1569-73)、レジデンツのグロッテンホーフ(1581-86)、ザンクト=ミハエル教会(1583-97)、アウグスブルク市庁舎(1615-20)

イングランド王国 ハンプトン・コート宮殿(1515~)、ロングリート・ハウス(1572)、ハードウィック・ホール(1590-1597)

JONES, Inigo(1573-1652): ホワイト・ホール宮殿ハンケッティング・ハウス(1619-25)、クイーンズ・ハウス(1616-35) ハッター・ティオ主義